

平成25年12月6日
国土交通省九州地方整備局
武雄河川事務所

《お知らせ》 第2回「さがため池サミット」を開催します ～低平地ため池の活用を考えよう～

六角川水系に多数存在する「ため池」の多面的な利活用を考える、「第2回「さがため池サミット」を佐賀県杵島郡白石町で開催します。

このサミットは低平地佐賀の特徴である「ため池（クリーク）」にスポットをあて「山・ため池・川・海」の連携を考えるもので、佐賀県内で水環境に関して活動を行う「佐賀水ネット」が主催するものです。

さがため池サミットは昨年度より開催し、今回で2回目の開催となります。
実施概要につきましては、下記のとおりです。

【第2回さがため池サミット 概要】

1. 日 時：平成25年12月15日（日）13時00分～16時30分
2. 場 所：佐賀県杵島郡白石町総合センター

※その他詳細につきましては別紙を参照ください。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所

TEL:0954-23-5175 FAX:0954-23-5193

技術副所長 山本 佳久（内線205）

建設専門官 興梠 逸郎（内線405）

各位（ご案内）

第2回『さがため池サミット』について

佐賀水ネット

2003年「世界水フォーラム」日本開催を契機に、佐賀県内の水関係者は「佐賀水の一年」と題して、それぞれの活動報告や学習会を一年間集中して開催しました。世界水フォーラムの会場でも「低平地の水管理」のセッションを主催し、その終了後に各組織・団体の“ゆるやかな連携”を目指し、組織したのが「佐賀水ネット」です。現在、産官学民98団体にご参加いただいています。

あれから10年が経過し、昨年度から佐賀県立宇宙科学館を会場に「さがため池サミット」を開催しています。このサミットは、低平地佐賀の特徴である「ため池（クリーク）」にスポットをあて、「山・ため池・川・海」の連携を考えるものです。

今年度は、縫の池のある白石町を会場に下記の日程で開催します。3：11以降、あらためて地域の自然歴史文化（地域資源）を直視し、地方分権時代＝自己責任時代のまちづくりを進めることが求められています。その意味から今年は、過去・現在・未来の時間軸の中で、佐賀の未来を展望します。お二人のゲストをお招きしています。お一人は合田先生、先生には水の神々をたどり過去の自然と人とのかかわりを、あとお一人は島谷先生、自然エネルギーの開発事例（小水力発電）から、持続可能な佐賀の未来をみんなで考えてみましょう。

師走になり、大変お忙しいとは思いますが、皆様のご参加をお待ちしています。

〈プログラム〉

第2回さがため池サミット

日時：2013年12月15日(日) 13:00～16:30（受付12:30～）

会場：杵島郡白石町総合センター（TEL0952-84-6925） 主催：佐賀水ネット

後援：国土交通省武雄河川事務所、武雄農林事務所、白石町、九州地域づくり協会、

西日本新聞社、佐賀新聞社、STS サガテレビ、ケーブルワン（各社申請中）

- 1、 開会挨拶
- 2、 報告 行政から～武雄農林事務所、白石町、国土交通省武雄河川事務所
民間から～白石町・縫の池湧水会、武雄温泉保養村の環境を考える会、
- 3、 講演
 - 1) 「山、ため池、川、海をつなぐ古くて新しい神たち」
合田博子 先生（環境人類学研究所代表）
 - 2) 「地域のための自然エネルギー」
島谷幸宏 先生（九州大学工学研究院 教授）
- 4、 質疑応答・まとめ

〈会場案内図〉



第2回さがため池サミット

日時: 2013年12月15日(日)13時~16時30分

場所: 白石町総合センター

(佐賀県杵島郡白石町大字福田1312-1、TEL:0952-84-6925)

主催: 佐賀水ネット

後援: 国土交通省武雄河川事務所・武雄農林事務所・白石町・
九州地域づくり協会・西日本新聞社・佐賀新聞社・
STSサガテレビ・ケーブルワン(各社申請中)



縫ノ池

プログラム

1、開会挨拶

2、事例報告

- ・国土交通省武雄河川事務所、武雄農林事務所、白石町
- ・白石町・縫の池湧水会、武雄温泉保養村の環境を考える会

3、講演

1) 山・ため池・川・海の技術をつなぐ古くて新しい神たち

合田博子: 環境人類学研究所代表

2) 地域のための自然エネルギー

島谷幸宏: 九州大学工学研究院 教授

4、質疑・まとめ

池ノ内湖(佐賀県立宇宙科学館)